

【合格のための「戦略」を練ろう】

令和4年も残りわずか。来月にはよいよ大学入学共通テストが実施されます。この冬休みにこれまでの学習を振り返るとともに、合格のための「戦略」を練りましょう。

- ① 保護者懇談会では受験校についての詳細な検討を行うと思います。担任の先生のアドバイスをしっかり聞きましょう。よく「松竹梅の三段構えで受験校を決めるとよい」と言われます。あなたにとっての「松竹梅」はどこですか。

松…チャレンジ校（今の実力では厳しいが憧れの大学）

竹…実力相応の大学（普段の実力が発揮できれば手が届きそうな大学）

梅…いわゆる「滑り止め」の大学。浪人ができない人は必ず受験する。

★国公立大学は前期の大学に合格し入学手続きをすると、中後期に合格する権利を失ってしまうため、**第1志望の大学は前期で受験すること**。いまさらですが、前期の合否を見てから中期・後期に出願するのではなく、2月3日（金）までに全ての出願を終えなければならないので間違えないように。

- ② あなたが受験校を決める際に**一番大切にすることは**何ですか。
「全国どこでもいいので、**少しでも有名な大学**に行きたい」
「できれば国公立大学または地元の大学に進学して、**経済的負担をおさえたい**」
「**キャンパスライフを楽しみたい**ので、4年生大学を選びたい」
「**看護師になればそれでいい**ので、場合によっては専門学校でもよい」
決め方は人それぞれだと思います。悔いのないよう保護者ともよく相談して下さい。

- ③ 複数併願する人は入試日程表をつくりましょう。受験日がバッティングしていませんか。また「大阪で受験した次の日に東京で受験する」ような無理のある日程になっていませんか。福井に受験会場が設けられる場合は是非活用しましょう。また各大学の入学手続き締切日をよく確認し、可能であれば学納金の無駄が生じないようにしましょう。

★合格後は**締め切り日までに確実に手続きを行って下さい**。
推薦入試で既に合格している諸君は一般入試で入学してくる生徒に学力面でひけをとることがないように、共通テストに真剣に取りくんで下さい。



【未来の自分を思い描こう】

合格のための秘訣を教えましょう。それは「合格した自分が大学で生き生きと勉強やサークル活動に取り組んでいる姿」「憧れの職業に就いた自分が第一線で活躍している姿」をできるだけ具体的に思い描くことです。その姿に一步でも近づけるよう、努力をしましょう。努力は人を裏切りません。いつかその努力は、人生の大きな糧となり、立派な実を結ぶことでしょう。

【逆境にあっても強く生きる】

人生とはなかなか思い通りにはいかないものです。時には「なぜ自分ばかり、こんなひどい目にあうのだろう」と思ってしまう時もあります。そんな時に是非読んで欲しい本があります。そのタイトルは『それでも人生にYESと言う』です。著者のV・E・フランクはユダヤ人であり、ナチスドイツによって強制収容所に入れられ、いつ殺されるかも知れないという過酷な体験をしました。そこで彼がたどり着いた人生観とは「自分が人生に何を求めるか（お金、名誉 etc）ではなく、人生が自分に何を求めているのか」を考えて生きることでした。あなたには、あなたにしか果たすことができない役割（使命）がきっと待ち受けています。あなたが教育者を目指しているのだとしたら、きっとあなたを待っている生徒がいます。そんな、未来の生徒たちの期待に応えるためにも、今ここで挫けるわけにはいきませんね。

金津高校の全教員が君たちの応援団です！分からないこと、不安に思うことがあれば、いつでも相談して下さい。

<大学入学共通テストから国公立大学出願までの流れ>

- 1/14（土）・15（日）大学入学共通テスト
- 1/16（月） 1～3限目：自己採点
4限目：学年集会 5限目：LH
- 1/18（水）～個別試験対策特別講座（2月22日まで）
- 1/19（木）～共通テスト個人成績表配付（1月20日まで）
- 1/21（土）～必要に応じて担任との面談を実施
- 1/23（月）～国公立大学2次試験出願（2月3日まで ※大学により違う）



切り取り線

<学年通信に関する感想> () 組 生徒氏名 ()
担任もしくは、学年主任（川畑）まで